

様 式 C - 7 - 1

平成30年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書（研究実績報告書）

所属研究機関名称		国際日本文化研究センター	機関番号	64302
研究 代表者	部局	研究部		
	職	教授		
	氏名	稲賀 繁美		

1. 研究種目名 基盤研究(A)(一般) 2. 課題番号 16H01919

3. 研究課題名 「うつわ」と「うつし」：情報化時代の複製技術・藝術の美的範疇刷新にむけて

4. 研究期間 平成28年度～平成30年度 5. 領域番号・区分 -

6. 研究実績の概要

1. ロンドン芸術大学と共催で国際シンポジウムおよび展覧会・陶芸制作実習を実施し、現地の有力な研究者、芸術家の参加を得て、「うつわとうつし」概念の批判的検討を行った。また関連する英文冊子を刊行し、知見の海外発信・社会還元・問題提起をなした。
 2. 国際日本文化研究センターで実施した共同研究会に基づき、本科学研究費補助金事業による研究成果の成果論文集編集に着手した。現在印刷中、本年度中には刊行予定。
 3. 国際日本文化研究センターにて国際研究会の実施を計画したが、日程上・予算上の都合から2019年度の開催は保留とした。なお本集会運営費が本科学研究費補助金事業とは別途であることは、交付申請書に記載のとおり。
 4. 研究代表者が昨年度にスリジー国際文化センターで研究報告したシンポジウム報告書は刊行済み。ウィーン大学講演、インドおよびバングラデシュでの講演も現在、出版編集作業中。研究代表者、研究分担者および複数の研究協力者が、台湾、韓国、アメリカ合衆国、フランスをはじめ、海外での調査研究を達成した。成果は2ほかに公表予定。国内においても、蘇州版画の集中的調査のほか、国際美術史学会東京コロキウムに参加し、海外からの研究者と「うつわとうつし」概念をめぐる文化交流検討の機会を持った。

7. キーワード

情報 複製 美的範疇 器 うつし

8. 現在までの進捗状況

区分
 理由
 平成30年度が最終年度であるため、記入しない。

2 版

9. 今後の研究の推進方策

平成30年度が最終年度であるため、記入しない。

10. 研究発表（平成30年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計20件（うち査読付論文 4件 / うち国際共著論文 1件 / うちオープンアクセス 16件）

1. 著者名 稲賀繁美	4. 巻 第246号
2. 論文標題 冬のパリ・日本趣味関係美術展示の瞥見 装飾美術館「Japon/Japonismes 2018」展への批判的備忘録	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊『あいだ』	6. 最初と最後の頁 10-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 稲賀繁美	4. 巻 第245号
2. 論文標題 日本美術と中国美術の あいだ （下）石橋財団国際シンポジウム（2018年11月2-4日）に出席して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊『あいだ』	6. 最初と最後の頁 23-31
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 稲賀繁美	4. 巻 第244号
2. 論文標題 日本美術と中国美術の あいだ （上）石橋財団国際シンポジウム（2018年11月2-4日）に出席して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊『あいだ』	6. 最初と最後の頁 35-43
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 稲賀繁美	4. 巻 第243号
2. 論文標題 建国神話の海外受容から戦前期の海外日本展示へ：日仏美術学会・関西例会でのコメントから	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊『あいだ』	6. 最初と最後の頁 29-39
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 稲賀繁美	4. 巻 第242号
2. 論文標題 柳沢史明 『ニグロ芸術の思想文化史：フランス美術界からネグリチュードへ』 黒人アフリカ世界の立体造形とその言説的観念史：ニグロ表象におけるトランス・アトランティックな「支配と抵抗のポリティクス」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊『あいだ』	6. 最初と最後の頁 14-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 稲賀繁美	4. 巻 9月号
2. 論文標題 ギュスターヴ・モローと亀	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『図書』	6. 最初と最後の頁 2-7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 稲賀繁美	4. 巻 SEP-OCT 2018
2. 論文標題 海賊史観、輪廻転生、そして華厳	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 GA JAPAN 154	6. 最初と最後の頁 126-131
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

2版

1. 著者名 稲賀繁美	4. 巻 第1070号
2. 論文標題 藤田嗣治の「戦争画」再考：世界史・アジア史の視点から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 美術手帖	6. 最初と最後の頁 102-107
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 稲賀繁美	4. 巻 第241号
2. 論文標題 A.K.クーマラスワミの事績からアジアを再考する（下）：ダッカ・アート・サミット DAS 2018（2018年2月8日-10日）に招待されて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊『あいだ』	6. 最初と最後の頁 26-35
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 稲賀繁美	4. 巻 第240号
2. 論文標題 A.K.クーマラスワミの事績からアジアを再考する（上）：ダッカ・アート・サミット DAS 2018（2018年2月8日-10日）に招待されて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊『あいだ』	6. 最初と最後の頁 10-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 稲賀繁美	4. 巻 -
2. 論文標題 Word and Image 学会にいたるアンヌ = マリー・クリスタンの若干の追憶 あとがきにかえて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 テキストとイメージ：アンヌ = マリー・クリスタンへのオマージュ	6. 最初と最後の頁 257-263
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲賀 繁美	4. 巻 第239号
2. 論文標題 日本画の前衛を戦後世界美術史に定位する：マシュー・ラーキングの『パン・リアル・戦後日本画の前衛』博士論文公開発表会より	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊『あいだ』	6. 最初と最後の頁 34-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shigemi INAGA	4. 巻 -
2. 論文標題 Genese et prehistoire des ecosystemes : l'etre vers la vie,geologique et le milieu, proto-biologique	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 La mesologie, un autre paradigme pour l'anthropocene?	6. 最初と最後の頁 265-273
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshiaki Mihara	4. 巻 40
2. 論文標題 Vico or Spinoza ? An Other Way of Looking at Theory, circa 1983	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Ex-position	6. 最初と最後の頁 7-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.6153/EXP.201812_(40).0002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三原芳秋 (講演) 金東植・尹大石 (討議)	4. 巻 51
2. 論文標題 「国民文学」再考 「文学理論」の普遍性をめぐって	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 韓国学研究	6. 最初と最後の頁 637-683
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

2 版

1. 著者名 堀まどか	4. 巻 -
2. 論文標題 「地方」：野口米次郎とシカゴの詩雑誌『ポエトリ』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本文学を世界文学として読む（二〇一八年度文学研究科プロジェクト成果報告書）	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Madoka HORI	4. 巻 9
2. 論文標題 Yone Noguchi 's Introduction of Noh and Kyogen to the West and East	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Urban Scope (e-journal of the Urban-Culture Research Center, OCU)	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） http://urbanscope.lit.osaka-cu.ac.jp/journal/vol.009.html#vol009-01	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 堀まどか	4. 巻
2. 論文標題 野口米次郎の戦争詩--第一次世界大戦から第二次世界大戦へ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 56-63
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Satoshi Udo	4. 巻 31-1
2. 論文標題 Toucher les souffles marginaux : reflexions sur quelques reflets de la banlieue parisienne au Japon	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 TTR: Traduction, terminologie, redaction	6. 最初と最後の頁 171-192
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鞍田 崇	4. 巻 19年4月号
2. 論文標題 民藝再考 さりげなく、たまたまな日々へのまなざし	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 美術手帖 100年後の民藝	6. 最初と最後の頁 36-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計16件 (うち招待講演 9件 / うち国際学会 9件)

1. 発表者名 Shigemi INAGA
2. 発表標題 Les cerfs-volants dans l'art et la littérature
3. 学会等名 'Cerfs-volants du Japon (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shigemi INAGA
2. 発表標題 A. K. Coomaraswamy and Japan: A Link between Colonial India and Annexed Korea
3. 学会等名 第231回 Nichibunken Evening Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shigemi INAGA
2. 発表標題 Reconsidering the History of Modern Japanese Art as a Contact Zone: Chiasma and Osmose in the Meeting of Chinese Classics and European Painting in Modern Art Theories in Japan
3. 学会等名 Ishibashi International Symposium, Modern Japanese Art and China (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

2 版

1. 発表者名 稲賀 繁美
2. 発表標題 いまなぜ海賊史観か - グローバル時代の日本研究を考える：商品流通と藝術概念を手がかりに
3. 学会等名 第3回 東アジア日本研究者協議会国際学術大会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 稲賀 繁美
2. 発表標題 A.K.クーマラスワミと柳宗悦 - 植民地体制下での民藝復興の国際的共鳴現象 -
3. 学会等名 A.K.クーマラスワミと柳宗悦 - 植民地体制下での民藝復興の国際的共鳴現象 - （招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 稲賀 繁美
2. 発表標題 Reevaluating Asian Arts and Crafts under the Colonial Rules in 1910s and 20s: A.K. Coomaraswamy and Yanagi Muneyoshi, between India and Korea
3. 学会等名 Rethinking Cultural Heritage : Indo-Japanese Dialogue in a Globalising World Order（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shigemi INAGA
2. 発表標題 Pirates ' View of the World Art: proposal for an alternative to the current system of Knowledge Production
3. 学会等名 ' Utsuwa Utsushi ' symposium（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 稲賀 繁美
2. 発表標題 A.K.Coomaraswamyと日本:総論にかえて
3. 学会等名 国際日本文化研究センター共同研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 堀まどか
2. 発表標題 外部からみた「日本」
3. 学会等名 日本比較文学会2018年度全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 堀まどか
2. 発表標題 「地方」：野口米次郎とシカゴの詩雑誌『ポエトリ』
3. 学会等名 大阪市立大学文学研究科プロジェクト『日本文学を世界文学として読む』
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Satoshi Udo
2. 発表標題 Literary Representations of the Violence in Algerian Civil War
3. 学会等名 the International Conference of “Religion, Violence and Multiculturalism: An Interdisciplinary Inquiry” (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

2 版

1. 発表者名 鶴戸 聡
2. 発表標題 新しい ことば を作る： 小さな文学の挑戦と可能性
3. 学会等名 国際シンポジウム「チベット文学と映画制作の現在（招待講演）（国際学会）」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 範 麗雅
2. 発表標題 国際展と国内展のあいだのあいだ： 1921 31年の「日華絵画聯合展」開催の意義再考
3. 学会等名 国際日本文化研究センター共同研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 戸矢理衣奈
2. 発表標題 女性の身体意識の変容と空間、鏡：大正期を中心に
3. 学会等名 国際日本文化研究センター共同研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 滝澤修身
2. 発表標題 「あいだ」のイメージ キリシタン時代を通じて
3. 学会等名 国際日本文化研究センター共同研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 系永・デルクール 光代
2. 発表標題 porosite
3. 学会等名 国際日本文化研究センター共同研究会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計17件

1. 著者名 稲賀繁美（編著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 花鳥社	5. 総ページ数 738（印刷中）
3. 書名 映しと移ろい 文化伝播の器と蝕変の真相	

1. 著者名 ゴウリ・ヴィシュワナートン（著）、三原芳秋（編訳）、田辺明生、常田夕美子、新部亨子（訳）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 みすず書房	5. 総ページ数 464
3. 書名 異議申し立てとしての宗教	

1. 著者名 堀まどか（分担執筆）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 花鳥社	5. 総ページ数 738(410-426)（印刷中）
3. 書名 映しと移ろい 文化伝播の器と蝕変の真相（境界者の詩学と民族運動の あいだ サロジニ・ナイドウの末弟ハリンドラナトを中心に）	

2 版

1. 著者名 鷺田清一（編）、堀まどか、佐々木幹郎、山室信一、渡辺裕、新 雅史、五十殿利治、畔上直樹、やなぎみわ、佐佐木幸綱、徳丸吉彦（著）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 講談社選書メチエ	5. 総ページ数 268(124-125)
3. 書名 大正 = 歴史の踊り場とは何か - 現代の起点をさぐる (時代を読む視点 二重国籍)	

1. 著者名 庄司宏子（編著）、鶴戸 聡、溝口昭子、結城正美、吉田裕、小林英里、北原妙子（著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 作品社	5. 総ページ数 340(21-60)
3. 書名 国民国家と文学（「アルジェリア人」とは誰か？：カテブ・ヤシンにおける「ネーション」の潜性）	

1. 著者名 カメル・ダーウド、鶴戸 聡（訳）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 201
3. 書名 もう一つの「異邦人」	

1. 著者名 鶴戸 聡	4. 発行年 2018年
2. 出版社 吟遊社	5. 総ページ数 96 (22-23)
3. 書名 吟遊（アラブ俳句と現代詩のあいだ：「世界俳句」第一四号を読んで）	

1. 著者名 鶴戸 聡 (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 花鳥社	5. 総ページ数 738(609-619) (印刷中)
3. 書名 映しと移ろい 文化伝播の器と蝕変の真相 (屍体と祖国 カテブ・ヤシンにおける集合性の詩学)	

1. 著者名 大西宏志 (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 花鳥社	5. 総ページ数 738(427-444) (印刷中)
3. 書名 映しと移ろい 文化伝播の器と蝕変の真相 (メディア技術に潜む「精 (スピリチュアリティ) 神性」と輪廻転生	

1. 著者名 範 麗雅	4. 発行年 2018年
2. 出版社 名古屋大学出版会	5. 総ページ数 590
3. 書名 中国芸術というユートピア: ロンドン国際展からアメリカの林語堂へ	

1. 著者名 範 麗雅 (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 花鳥社	5. 総ページ数 738(94-116) (印刷中)
3. 書名 映しと移ろい 文化伝播の器と蝕変の真相 (偽作と傑作との あいだ 一九二八と三一年の日華古典名画展開催の意義再考	

2 版

1. 著者名 デンニツア・ガブラコヴァ (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 花鳥社	5. 総ページ数 738(318-334) (印刷中)
3. 書名 映しと移ろい 文化伝播の器と蝕変の真相(ヤノベ・ケンジ 変容する情報と移り行く形態と)	
1. 著者名 近藤高弘 (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 花鳥社	5. 総ページ数 738(602-608) (印刷中)
3. 書名 映しと移ろい 文化伝播の器と蝕変の真相(「ウツワ」作為と無作為の間に陶芸創作の原点を探る)	
1. 著者名 戸矢理衣奈 (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 花鳥社	5. 総ページ数 738(516-530) (印刷中)
3. 書名 映しと移ろい 文化伝播の器と蝕変の真相(近代日本における鏡の普及と身体意識の変容 大正期の洋間と「文明ノ程度」)	
1. 著者名 滝澤修身 (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 花鳥社	5. 総ページ数 738(35-54) (印刷中)
3. 書名 映しと移ろい 文化伝播の器と蝕変の真相(「天正遣欧使節」 スペイン史料からの再考)	

1. 著者名 系永・デルクール 光代 (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 花鳥社	5. 総ページ数 738(335-348) (印刷中)
3. 書名 映しと移ろい 文化伝播の器と蝕変の真相 (Porosite ポロジテ)	

1. 著者名 Yuko KIKUCHI, Shigemi INAGA, Toshio WATANABE, Alfred HAFT, Hiroshi ONISHI, Katie HILL, Julian STAIR, Maiko TSUTSUMI, Marta AJMAR, Kazuya ISHIDA	4. 発行年 2018年
2. 出版社 CCW College and TrAIN, University of the Arts London	5. 総ページ数 36
3. 書名 Utsuwa - Utsushi	

1 1. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件 (うち出願0件 / うち取得0件)

1 2. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 'Utsuwa Utsushi' symposium	開催年 2018年
--------------------------------------	--------------

1 3. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
英国	ロンドン芸術大学	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-

2 版

1 4 . 備考

うつわとうつし

<https://www.facebook.com/utsuwautsushi/>

稲賀繁美研究室

<http://www.nichibun.ac.jp/~aurora/inaga/index.php?2016-2020%20Nichibunken%20IRCJS>